

# 新退教通信

No.192

2024.3.1

新潟県退職  
教職員連絡協議会  
☎Fax 025-281-8146

## 一人ひとりの「よし」が おおきな力になる



新退教副会長

米山忠彦

2023年春、新退教総会の来賓、高退教木村昭雄会長さんの新聞投書を引用してのあいさつに心惹かれるものがありました。

投書の題は、「会費に込めた反戦の思い」。会員としての平和を活動や署名活動を行ってきたが、最近、体の不調が続き、趣味の会、ボランティアと辞めた。そんな時、年会費納入の通知が届き、続けるべきか、辞めるべきか迷っていた。

しかし、新聞やテレビ報道を見るにつけ、「教え子（今は孫も）を再び戦場に送らない」のスローガンが頭をもたげ、「目立たない会ではあるが、同感する人が多く集まれば

大きな力になる」「よし、会員を続けよう」と、会費を納入することにした。というものでした。

米中対立やウクライナやパレスチナでの紛争が続くなか、2024年は「選挙イヤー」さらに、混迷が増します。日本も混迷し、イライラする政治状況が続きそうです。

今改めて、投書や本田路津子の「一人の手」の歌詞にある「大きな力になる」取組が必要なのだと、強く思います。

個人でできることは、募金です。ウクライナ、ガサ・イスラエルの人道危機支援、能登半島地震支援募金に協力することにしました。みんなと手を携えてできること。それは、「安全と安心」が保証される生活のために、地道に取組を続け、足元を固めることです。

まずは、選挙、変わるべきは私たちが有権者です。例えば、声掛けで、再度、新潟方式の共闘を組織させ、勝利すること。そして、さらに、次世代のために、新教組の後輩と一緒に取組を強化していくこと。2023年、県民、新教組との教育をよくする署名活動や議会請願、意見広告などの取組で、国に先駆けて小学校の完全35人学級を実現できました。

もう一つ、私ができること。それは、会の活動を支えるために、会費を払い続けることだと考えます。

### 目次

1p 巻頭言 副会長 米山 忠彦 (敬称略)

4p 支部より 本部執行員 五十嵐恵里香  
本部執行員 米柁 将太  
岩船支部 滝沢 武司

5p 新教組です 下越支部 渡辺みつ枝  
中魚支部 市川 正  
佐渡支部 大谷 直治

6p 能登半島地震の対応 ミニ情報 上越支部 渡辺 耕大

7p みんなの広場 (山上オクラ、今井真悟、佐久間節子)



写真「なごり雪」  
若山文雄さん (南魚支部)

# 支部代表者会



12月11日午前中に「支部代表者会」が開催された。開催の趣旨は、「新退教本部の中間決算を行い、活動の中での悩みや方策を協議する」である。議題は、9月25日に行われた「結成50周年記念式典の運営と今後の対応」である。

## 〈結成50周年式典〉

・「式典部、記念誌部、総務部」ともに部長のリーダーシップが発揮され、円滑に進んだ。

・今後の周年行事は、予算的に苦しくなる。積立金を半分の五万円にし、その中で対応する。

## 〈組織拡大〉

※各支部から、様々な意見が出された。

新潟	支部の役員体制が変わる。会員数をしっかりと把握する必要がある。組織拡大はなかなか難しい。
長岡	加入促進は本部の通信を活用し、加入対象者を絞って加入活動を行っている。

三南	北新	西蒲	北魚	南魚	中魚	上越	糸魚川	岩船	柏刈
会費納入は、郵便振込にしている。対面でないため、未納者が増えている。	会費納入は、手渡し、郵便振込、持参である。新加入者がほとんどいない状況である。	未納者には督促状を出している。声掛けが有効である。	会員が少しずつ減っている。新退教をもう少しアピールしていきたい。	自然減と支部内に退職者がいない現状がある。加入促進には、懇親会が有効である。	加入者が一ケタ。新しい人は加入しない。未加入者は入らない可能性が高い。	減り続けている。新退教を知ってもらう活動が必要。加入を否定する団体もある。	加入促進の支部だよりを配布している。新退教をよく知ってもらおう活動が欲しい。	コロナ禍で対面の活動ができなかった。なかなか元に戻らず、修復が見いだせない。	加入促進はうまくいっていない。対面の活動が有効である。



## 〈新教組旗開き〉

1/13、新教組の旗開きがコロナ禍以前の形に戻して東映ホテルで行われた。佐藤俊介書記長の進行で、今井淳委員長の挨拶、来賓・国会議員挨拶、歓談と続き、石津真澄副委員長の閉会挨拶・委員長の団結カンパローで閉められた。

自民党の派閥パーティ裏金問題を根本的な政治改革には手を付けず、派閥解消で逃げようとしている。教育改革に取り組んでほしい。



### 来賓 (敬称略 \*日政連議員)

牧野茂夫 (連合新潟会長)、遠藤丞 (高教組委員長)、齋藤悦男 (平和センター議長)、山田有希 (県職労委員長)、西村智奈美 (衆議員)、菊田真紀子 (〇) 米山隆一 (〇)、梅谷守 (〇)、打越さく良 (参議員)、黒岩宇洋、青木学 (\*新潟市議)、竹内功 (\*〇)、三母高志 (\*新発田市議)、荒井眞理 (\*佐渡市議)、長谷川有理 (\*小千谷市議)、新退教他22人

### メッセージ

水岡俊一 (\*参議員)、古賀千景 (\*〇)

# 現退役員交流会



12月11日午後から新教組役員と新退教役員の交流会が開催された。

今井執行委員長から、今年度の賃金闘争の報告があった。昇給ベースと一時金のダブルアップを勝ち取った。ガソリン価格の高騰に対応した通勤手当の改善の要求は叶わなかったが、休暇制度で不妊治療の期間を一年間に延長することができた。

## 〈要求実現に向けての取組〉

石津真澄副執行委員長から、国政で教職員の待遇改善を政府に要求するため、日政連参議院議員の「みずおか俊一」さんの活動紹介があった。国会の予算委員会で岸田首相に対しての「給特法の改善を要求しているシーン」を石津副委員長から映像紹介があった。「みずおか俊一」さんは中学校の教員から兵庫県選出の参議院議員になり、一度落選した後、全国区で参議院議員に当選した。新教組は、組合員の願いを国会に届けるため2025年参議院選挙に「みずおか俊一」さんの当

選に向けて取り組むので、新退教も理解そして協力してほしいと話があった。

私たち新退教は教育現場をよくするため、「30人以下学級実現の署名」に取り組んでいる。要求実現のためには、県内の議会での採決が必要である。そこで、県内の市議会議員や県議会議員の中で、日政連議員の活動をしている議員を通して、署名用紙を議会に届けている。これは本当に大切な活動である。



## 〈訃報〉

新潟県教育及び日本の教育をよくするため、日政連参議院議員としてご尽力された「かすや照美」さんが昨年12月14日に亡くなりました。ご冥福をお祈りいたします。

## こんにちは 新教組です

がんばれ新教組!



本部執行委員 (教文)  
五十嵐 恵里香  
(阿賀野市水原小)

今年度の県教研集会は、4年ぶりの完全対面形式での開催でした。新退教の皆様からもご参加いただけたことをうれしく思います。顔を合わせたからこそ語れること、交流できることがあります。組合活動を通して、目の前の子どもたちを中心に据えた教育の大切さをより感じています。教研活動が広がるよう精いっぱい取り組みたいです。



本部執行委員 (賃対)  
米 柵 将 太  
(柏崎市荒浜小)

上がり続ける物価によって労働者の生活は苦しさが増しており、持続的な賃上げの可能性は高まる一方です。今年度は組合員の結集した取組で、数十年ぶりとなる大幅な賃上げを勝ち取りました。しかし、物価上昇に賃金が追いついたとは言えません。次年度も、賃金水準向上に向け、一致団結して取組を進めています。

がんばれ後輩!



## 支部からのたより



### 学校統廃合と学級編成基準



村上岩船支部 支部長

滝沢 武司

どの支部でも見られるとおり、驚くほどの人口減少・少子化の波が地域教育の基盤の学校現場の今と今後を大きく揺り動かしているのは、村上岩船支部も例外ではありません。

特に村上市の場合、平成20年の市町村合併後、これまで積み残されていた教育環境整備への取り組みが喫緊の課題であ

るとして検討委員会を設置し、28年に答申を受けた「市内小中学校の望ましい環境基本方針」をもとに、平成31年これまでの20小・8中体制を13小・7中体制へと整備統合したばかりです。

が、その後も児童生徒数の減少は著しく、この体制を維持することも難しい状況と昨年再度第2次答申が出され、郡市の児童生徒の望ましい教育環境整備を求めています。

児童生徒数の減少と学級編成のイタチごっこは制度改革以外に解決はないのでは。

気楽に！ 楽しく！  
自然に足が向く  
「うたごえ喫茶風  
「お茶飲み会」



上越支部 幹事

上野 一 栄

「囲碁大会」に代わる文化活動として、2年前、この企画が立ち上がった。年2回の開催で、今年度はある地区から依頼も頂き、3回開催できた。規制の多かったコロナ禍を乗り越え、少人数ではあるが、集まって活動できるようになって本当に良かった。

特別なことはない。始めに、何曲かリクエスト曲を歌って雰囲気や和ませ、小さな輪になってお喋りするというもの。知らない曲が無いように、季節の歌・唱歌・少々昔の流行歌など、毎回、幹事仲間とカフェにこもり、2時間程かけて選曲し、歌集印刷となる。当日は、伴奏しながら一緒に歌って、会議室に響く女性会員の柔らかい歌声と、男性幹事の低い歌声を聞いていると、何だか嬉しくなってくる。3年目は少しハモってみようか？この先どうなっていくのか、楽しみだ。

### 支部活動を考える



小千谷・魚沼支部  
副支部長

五十嵐 正 巳

コロナが五類に移行し、以前の支部活動が戻ってきた。総会、懇親会、親睦旅行などが面談で実施でき、再会を喜び合った。

しかし、参加者は減少した。確かに高齢化等で会員は減少している。価値観も多様化している。コロナ禍による意識の変化も否めない。何より会員の定年後のあり様が変わった。定年延長や再任用、再就職などで、働き続ける人が増えた。また、地域役員、教育や福祉関係の仕事など、会員は種々の場で活躍しており、総じて忙しい。

私たちは、こうした現状を認識した上で組織のあり方を考えていく必要がある。直接参加できなくとも、オンラインでの参加も可能だ。近況を知り合い、想い合うだけでも連帯は保てる。会員のニーズを把握し、時代に合った支部活動、つながり方を探っていきたい。

ことばき講座

「麻雀に親しむ会」



佐渡支部 研修部長  
大 谷 直 治

「卓を囲む中で会話を楽しみ、親睦を深めましょう。『賭けマージャン』は一切行いません。経験者によるルール等の指導も受け、学びながらゲームを進めます。フレイル対策として一緒に楽しみましょう」(支部新企画)

支部活動の更なる充実を



中魚支部 支部長  
市 川 正

コロナ禍の過渡期を過ぎ、当支部は昨年度に続き支部総会を開催することができました。支部幹事をはじめ支部の会員の熱意の賜物と感謝しております。

活動自粛が横行する中において、当支部では女性幹事を中心に新企画を立ち上げることができました。会員有志が集まり楽しく歌おうという企画です。この企画は今年

当日は、「老老男女」8名が集い、自身と向き合いながらのドキドキの2時間でした。講座の前には、参加者それぞれの近況や大学時代の下宿生活の話など楽しく交流させていただきました。

初代優勝者は〇〇先生。研修部企画に長年にわたり毎回参加してくれたのも先生でした。間もなく先生の訃報が届きました。いつもニコニコと声をかけていただきました。散会時には、「この後も頼むじゃ」と声をかけていただきました。

佐渡支部の新企画挑戦は続きます。

度2回実施することができました。新しい企画を立ち上げた支部は当支部だけなのではないかと自負し、女性幹事のパワーに感謝です。

また、休止していた支部旅行も再開することができました。旅行先は支部会員には馴染みの深い「秋山郷」です。身近な「秋山郷」ですが、専門の添乗員2名のガイドのお蔭で、秋山郷にある水力発電の創設期の説明に、当時の人々の暮らしと願いを知ることができました。また、当時の人々の生活の惨状を克服するための労苦等を知ることができ、有意義な旅行となりました。幹事に感謝です。

こんにちは 新教組です

がんばれ新教組!



下越支部 書記長  
渡 辺 みつ 枝  
(新発田市第一中)

下越支部では、7月に数年ぶりとなる新採用者歓迎会を実施するなど、徐々に以前のような活動に戻ってきています。広大な支部だからこそ、組合員一人ひとりのつながりを大切にしている書記局運営を心がけています。現場は欠員や定年引上げなど課題が山積みですが、子どもたちのため、教職員のために全力で支えていきます。



上越支部 書記長  
渡 辺 耕 大  
(上越市国府小)

上越支部では、感染症5類引き下げに伴い、各専門部で工夫して交流会を実施しました。どれも昨年以上の参加があり、多くの方が交流会を待ち望んでいたことを感じました。組合活動を通して、仲間と交流ができることを感じてもらえたと思っています。今後も組合員のニーズに沿った活動を取り組んでいきます。

がんばれ後輩!

# ◆2024能登半島地震で新潟県も被災◆ ～被災状況報告と支援カンパのお願い～

2024年の元旦早々に能登半島地震が発生し、津波が押し寄せ、石川県・福井県・富山県・新潟県と広範囲に深刻な被害をもたらしました。犠牲になられた方々に心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

日退教より「会員被災状況調査」「被災会員支援カンパ」の依頼が来ており、新退教として下記のように取り組んでいます。ご協力をお願いいたします。

<会員被災状況調査> 各支部を通して調査

<被災会員支援カンパ>

- 1 義援金名称 能登半島地震 被災会員支援カンパ (5/10までに)
- 2 義援金金額 任意
- 3 送金先 新退教各支部



\* 会員個人から新退教本部に直接払い込む方法も可能です。

金融機関 ゆうちょ銀行 (郵便局の払込取扱票で)  
 口座名称 新潟県退職教職員連絡協議会  
 口座番号 00550-8-53677

(注) 払込取扱票の「ご依頼人」は「氏名 (〇〇支部)」

## 【三三情報】

◇ 会員夫妻の「ぎやらりー浜つばき」(☎0256-77-2013 土日月開館)

4/6～4/22

猪爪彦一 作品展

5/4～5/20

高橋純一 金工展

5/25～6/10

二人展

有田由美子 (帽子)

青山美奈子

(布箱カルトナジユ)

6/15～7/1

樋口正 絵画展

7/6～7/29

吉田志麻 木版画展

8/3～8/26

二人展

野田英世 (水彩画)

中嶋悠 (平面作品)

9/24～9/30

渡辺美千子 書展

◇ 2023.12.17 新潟日報意見広告

世界最大の柏崎・刈羽原発「再稼働を問う」で元裁判官の樋口英明さんの講演の要旨が載っています。



貧困に苦しむ学生への **給付型奨学金にご寄付を**

いただいた寄付金は**全額**学生に支給します。

対象は新潟県出身の学生。母子や生活保護などの貧困世帯。

高校生 月 5,000円  
 大学専門学校生 月 30,000円 **卒業まで支援**

現在 高校生 120人、大学専門学校生 60人支援

最後の社会貢献として「遺贈」についても推進しています。

一般財団法人未来応援奨学金にいがた  
 〒950-0914 新潟県新潟市中央区紫竹山5-7-23  
 TEL:025-250-0889 <https://shizuku-ni.or.jp>



弊財団の運営費は別途ご支援いただいております。学生に支給する目的の寄付金は一切利用しておりません。財団のスタッフはボランティアで運営しております。

こちら未来応援奨学金



教職員共済【自動車共済】

事故を起こし保険を使うと等級が3つ下が  
り、事故有係数が適応されるため、次の年か  
ら大幅に掛金が高くなります。当共済では、  
事故有係数を採用していないた  
め、掛金の上がり幅は少ないの  
が特徴です。資料請求はこちら  
から↓



みんなの広場

AIでなんとか・・・⑨

山上オクラ

金融・がん・介護・年金等に「教育」の2  
文字を付けた「追加教育（\*）」が急増中  
である。社会の問題が学校教育にすりかえら  
れているような・・・。（\*岡本薫氏が命名）  
公文書改ざん事件は、公文書管理の問題に、  
○本⑬術会議会員の任命問題は会議そのもの  
の在り方にすり替えられた。  
答弁での論点すり替えは日常化し、還付金  
詐欺は還付金が途中で振込にすり替えられる  
これら、AIでなんとかなりませんか？

我が人生はバイクとともに ④

今井 真悟

毎年春一番に出かけるのが会津路だ。檜原

湖周辺にはまだ雪が残っ  
ている3月半ば、愛車を  
走らせて体慣らしをする。  
寒さが体にしみる時期は  
カウル付きのバイクを走  
らせる。外気温が一桁台  
になっても耐えられるか  
らだ。夏場は、カウルの  
ないバイクを選び颯爽と  
風を切って走るのが喜びだ。また、目的の一  
つが喜多方ラーメンだ。冷たい体に温かいラ  
ーメンは何物にも代えがたいご馳走である。

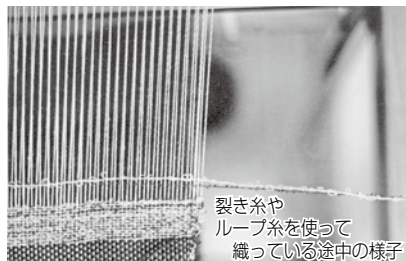


残雪と早春の磐梯山

裂き織の楽しさ③

佐久間節子

身近に織機があることに喜び、感謝しつ  
つただただ裂織を織ることに夢中でした。楽し  
くてつて、うれしくつてひたすら暇を見つ  
ては裂織に没頭しました。タペストリーやテ  
ーブルセンター、のれん等の平面の作品つく  
りにのめり込みました。  
幸いなことに祖父母や母  
の着物を利用でき、5  
3ミリ位に切り、色別に  
切った布を組み合わせ、  
織りのグラデーションを  
楽しみました。織りなが  
ら次の作品に思いを馳せ  
ていました。



裂き糸やループ糸を使って織っている途中の様子

告 白

- 内科クリニック・リハビリセンター併設で安心
- 便利な新潟万代駅前エリアで充実したセカンドライフを！

年齢を重ねても、出来るだけ自分の力で  
活動的にやりたいことを続けていきたい。  
そんな思いを大切にす方へ。

住宅型有料老人ホーム 萬代やすらぎ  
社会福祉法人 新潟慈恵会

(見学歓迎)

新潟市中央区東大通1丁目8-10医療福祉ビル  
お問い合わせTEL025-249-8111(代表)



# 沖縄を再び戦場にするな!!

## 帰宅困難地域、汚染水、被災原発デブリどうするか!!

# 日退教通信

No. 411

2024.1

### 日本退職教職員協議会

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋二一六―二 日本教育会館6F  
発行責任者 竹田邦明  
TEL 03(5275)2197 FAX 03(5275)2081  
Email nritaikyo@gmail.com キーワードURL <http://www.nritaikyo.com>

日退教は、昨年11月に2つの大きな取り組みを行いました。

一つは沖縄交流の旅です。今回は、第12回目を迎えました。日本政府は沖縄の辺野古基地建設をはじめ、南西諸島にも次々基地を作り、いつでも戦争を始める体制を急いでいます。

また、原発再稼働を進める岸田政権、2つの報告をします。

「日米地位協定」「日米合同委員会」を研究し、それらを白日の下に晒し、改革しよう!

千葉県退教 本多慶晴

第12次「沖縄と連帯する交流の旅」に参加して、このレポートが報告にふさわしいかは、分からないが、私は、この考えを貫くことが、沖縄と連帯することだと考え、報告をする。

2021年3月、アメリカのインド太平洋統合軍新旧司令官が2人揃って「中国の台湾への武力侵攻は6年以内である」「それは我々が考えるより迫っている」と明言した。

この発言を受け、米軍の幹部たちは、準備しなければ大変なことになると、非常に焦った。それで彼らは自衛隊幹部に、「日米の政治プロセスを待つてはられない」「台湾有事が迫っていることを日本側は理解しているのか」と、非常に強い口調で言ってきた。その会議に参加した自衛隊幹部によれば、「米国軍人は軍事的合理性しか考えない」「彼らは軍事的合理性があれば何でもやる。その際、日本の国内法も、政策も、ましてや南西諸島の



住民の命など全く考えていない」と。同年の11月、新しいインド太平洋統合軍司令官が来日。彼は自衛隊の統合、陸上、海上、航空の各幕僚長を前に、かなり強い口調で「早く共同作戦計画を作らないと間に合わないぞ」と迫った。会議後、アメリカの司令官に責められて、4人の幕僚長たちの顔色は真っ青だった。以上の情報は、2022年9月「台

湾有事・日米共同作戦の正体——メディアはどう闘うか」の講演録、共同通信社編集局・専任編集委員・石井暁氏の基調講演から。(小冊子『また「沖縄が戦場になる」って本当ですか?』より)  
アメリカ軍人の上から目線当然のような態度は何によるのか?叱責された子どものような自衛隊トップの情けない姿は何によるのか?

## 能登半島地震、支援カンパを!

元日に起きた能登半島地震は半島全体に及び、被災者に多くの会員が含まれています。全国の会員からのご支援をお願いします。(詳細:日退教発 23-52号 24年1月9日)